

高口先生

いつもお世話になっております。
3月に入り、学年のまとめの時期に入りました。
また、赴任してようやく1年がたとうとしています。
なんとか、無事に過ごすことができました。
私も自身の1年のまとめを進めなければなりません。

さて、先日、台湾大使公邸に
先般の台湾の震災に対する義捐金を、保護者（児童生徒）、職員から集め
持っていきました。
今回のことは、担当する生徒会の子どもたちに話を投げかけ、実現しました。
ちょうど、日本人学校の隣に公邸があることもあり、
さらには、東日本大震災においては、
台湾から大きな支援を日本におくられたことも生徒に話をしました。

そのことが、ヤフーニュースに取り上げられていましたので、
紹介したいと思い、メールをしました。
(添付のものは、記事のコピーです。)

台湾に対して、パラグアイは、国として認めています。
したがって、大使館もあり、お互いに友好関係にあり、
パラグアイと台湾とのパイプも太いと聞いています。
私自身が不勉強で、台湾についての日本の立場など、
詳しく生徒たちに話ができませんでした。
また機会がありましたら、ご教授いただければうれしいです。

以下が記事のアドレスです。

<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20160226-00000007-ftaiwan-cn>

アスンシオン日本人学校
角 直浩

パラグアイ日本人学校の児童ら、台湾南部地震に募金 温もりを被災者に

中央社フォーカス台湾 2月26日(金)17時13分配信



駐パラグアイ大使館提供

(台北 26日 中央社) パラグアイ共和国にあるアスンシオン日本人学校の教師や児童らは現地時間24日、中華民国駐パラグアイ大使公邸を訪問し、台湾南部地震への義援金として160万グアラニー（約3万1600円）を俞大レイ大使に手渡した。同校は、東日本大震災時の台湾

からの援助に感謝を示し、金額は少ないが、思いやりの心と温もりを
台南の被災者に届けられればとコメントした。（レイ=さんずいに雷）

俞大使は政府と国民を代表して謝意を表明。台日の密接な結び付きや、
互いに助け合う思いやりの精神は貴いものだと言、早急に義援金を
台湾に送金し、復興に役立てることを約束した。

訪問団は中華風の軽食や飲み物でもてなされた。また、大使夫人から
全児童に対し、「台湾」の文字が印刷されたピンバッジと、台湾を紹
介する小冊子が贈られた。